

1. 基本情報

評価対象年度 (令和2 年度)

施策コード	211	施策名	高齢者の支援
将来像	2	健幸でともに支え合うまち(「支え合い」の分野)	
まちづくりの基本目標	21	ともに支え合って生活するまち	
担当部	生涯健康部	担当課	介護保険課

2. 施策の方向

10年後の姿	医療・介護・予防・生活支援・住まいが一体的に提供される地域包括ケアシステムが構築され、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らしています。		
施策の方向性	1	高齢者が安心できる暮らしを支援します	
	2	高齢者のいきいきとした暮らしを支援します	
	3	医療と介護の情報共有、情報交換ができるしくみをつくります	

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和2年度決算額
地域福祉総務事業	1、2	福祉総務課	5,066
敬老記念事業	2	福祉総務課	3,853
高齢者住宅事業	1、2	福祉総務課	46,104
老人いこいの家運営管理事業	2	福祉総務課	5,436
介護人材育成定着支援事業	1	介護保険課	0
地域包括支援センター運営管理事業	1、2、3	介護保険課	1,065
介護予防・生活支援サービス事業	1、3	介護保険課	1,213
介護予防・生活支援サービス給付事業	1、3	介護保険課	171,585
一般介護予防事業	1、2	介護保険課	12,413
包括的支援事業・任意事業	1、2、3	介護保険課	114,385
後期高齢者保健事業(後期高齢者医療制度)	1、3	保険年金課	94,424
総事業費(施策の合計)			455,542

4. まちづくり指標

指標情報				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和5年度	令和7年度	
①	名称	地域包括支援センターの機能の認知度		目標値	60.0	62.5	62.5	65.0	70.0
	説明	地域包括ケアシステムの中核機能であるため	単位 %	実績値	58.0	58.0(※2)			
	抽出方法	介護保険事業計画策定に係るアンケート		達成率	96.7%	92.8%			
②	名称	シルバー人材センター会員目標就業実人員数		目標値	750	760	773	807	843
	説明	技能や経験を生かした働く機会の確保や社会参加の尺度	単位 人	実績値	746	693(※3)			
	抽出方法	当該センターの事業報告		達成率	99.5%	91.2%			
③	名称	高齢者が地域で見守られて安心して暮らすことができると思う人の割合		目標値	—	50.0	50.0	55.0	60.0
	説明	高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の基本目標	単位 %	実績値	38.9(※1)	41.1			
	抽出方法	市政世論調査(平成29、令和2、5、8年度実施)		達成率	—	82.2%			
④	名称	高齢者が地域で自分らしくいきいきと暮らしていると思う人の割合		目標値	—	60.0	60.0	65.0	70.0
	説明	高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の基本目標	単位 %	実績値	43.9(※1)	44.9			
	抽出方法	市政世論調査(平成29、令和2、5、8年度実施)		達成率	—	74.8%			

※1平成29年度実績値

※2令和元年度実績値

※3新型コロナウイルス感染症拡大の影響による減と推測される

5. 評価(令和2年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	総合評価(成果、投入財源等を総合的に評価)	<p>維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ●安全安心のまちづくりのため、有事に備え、避難行動要支援者登録制度に登録してもらうよう努めた。また、福祉避難所連絡会を開催し、意見交換を行った。 ●認知症対策としては、清瀬市医師会や医療機関等と連携し、認知症初期集中支援チームによる認知症の早期発見・早期治療への対応を行うなど、高齢者の安心できる暮らしを推進している。 ●家族介護者への支援として、家族介護者教室や認知症カフェを開催し、家族介護者同士の情報共有や負担軽減などに努めてきた。 ●「きよせ介護サポーター事業」では、社会福祉協議会に委託して実施する地域活動説明会やボランティア講座でのPRなどを通じて、65歳以上の高齢者が介護保険施設等で活動するよう仕組みづくりを行っている。 ●支え合いの活動支援では、地域包括支援センターの担当地区ごとに高齢者の支え合いの地域づくりについて情報共有や取組を行う第2層協議体の活動を推進してきた。今後は、つどいの場や活動拠点の整備を検討していく。 ●高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画策定のため、評価策定委員会にて施策の評価や今後の方針やサービス見込量、及びサービス基盤の整備の検討等を行った。 ●健幸とともに支え合うまちの実現に向けて施策を実行しているが、地域の支え合いや、今後多様化・増加する介護需要への対応などは今後も検討課題となっている。

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している
 維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある
 停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

令和2年度からの変更点	<p>令和3年度から令和5年度を計画期間とした高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画がスタートし、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年や、更にその先の、団塊ジュニア世代が65歳以上の高齢者となる2040年を見据えた介護サービス基盤の整備や、介護保険制度の持続可能性の確保に取り組むこととした。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、研修や会議等はオンラインを活用した形態に移行して実施することとした。また、令和3年度介護報酬改定により、介護保険事業所にBCP計画(業務継続計画)の策定が義務付けられた。</p>
-------------	---

7. 施策を進める上での課題

① 施策を進める上での課題	<p>第2層協議体の活動を推進し、令和2年度中に全ての地域で協議体の立ち上げを行うことができた。まだ立ち上がったばかりの協議体には、活動が軌道にのよう生活支援コーディネーターと連携しながら支援していく必要がある。また、地域交流の場の充実では、市内42か所のサロンに加え、生活支援コーディネーターが新たなサロン立ち上げの支援を行っているが、新型コロナウイルス感染症によりサロン活動に影響が出ている。</p>
課題に対する令和4年度以降の取組	<p>生活支援コーディネーター・第2層協議体を中心とした「支え合いの地域づくり」の推進、市民の自主グループによる活動拠点づくりを行う。また、サロン活動の促進では、適切に感染症対策を講じたうえで、生活支援コーディネーターと連携しながらサロン立ち上げや運営支援を行う。</p>
② 施策を進める上での課題	<p>介護保険業界において人材確保が困難な状況にあり、市内事業所でも最小限の人員で事業運営にあたっている。今後、多様化・増加する介護サービスに対応するには、介護人材の確保及び定着支援が必要である。</p>
課題に対する令和4年度以降の取組	<p>第8期介護保険事業計画(R3~R5)の施策目標の一つに「介護人材の確保及び質の向上、定着支援」掲げている。具体的な施策としては、以下の取組実施を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護事業者との協同による人材不足の実態把握 ・介護職員表彰制度の検討 ・入門的研修「介護はじめての一步研修」の実施(→受講者と事業者のマッチングに力を入れる。)
③ 施策を進める上での課題	<p>新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、介護保険施設、事業所の業務継続や高齢者の健幸維持等に取り組む必要がある。</p>
課題に対する令和4年度以降の取組	<p>介護保険施設、事業所への補助やサポート体制の構築及び介護(予防)サービスにつながない高齢者の実態把握に努める。具体的な施策としては、以下の取組実施を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業所へのPCR検査費用補助 ・在宅要介護者の受入体制整備事業 ・介護施設等の職員相互派遣の仕組みづくり ・アウトリーチ事業(サービスにつながない高齢者の実態把握) ・医療介護の連携推進協議会(介護保険事業所等への感染症対策研修)